

5. 1 4 配管流路の洗浄

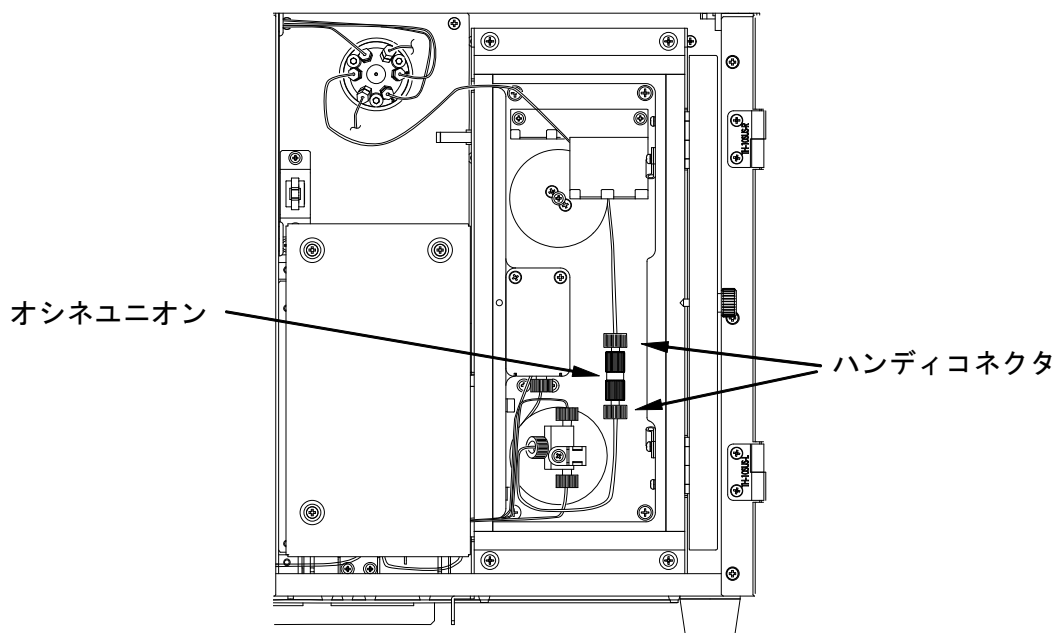
本機を長期間使用しない場合は、配管流路を純水で洗浄してください。溶離液のまま長期間放置すると、配管流路に塩が析出することがあります。

【用意するもの】

オシネユニオン	PEEK	(品番：0017898)	1 個	付属品
ハンディコネクタ	PEEK	(品番：0016566)	2 個	付属品
純水			適量	
溶離液瓶			1 個	
廃液瓶			1 個	

【手順】

- ① 操作部の **FLOW** キーを押し、ポンプの送液を停止します。
- ② カラムが取り付けられている場合は、カラムを取り外します。
- ③ カラム **IN** 配管とカラム **OUT** 配管をオシネユニオンとハンディコネクタで接続します。



- ④ 純水を入れた溶離液瓶を準備し、溶離液配管 1 と 2 を差し込みます。
- ⑤ 操作部より以下の手順で、溶離液 1 を選択します。
 - 1) モニタ画面表示時に **F3 (Unit)** キーを押します。
 - 2) ユニット選択画面で、テンキーから "**1**" (**Pump**) を入力し、**ENT** キーを押します。
 - 3) ポンプ画面で、**Eluent** にカーソルがあることを確認し、テンキーから "**1**" (溶離液 1) を入力して、**ENT** キーを押します。

- ⑥ 操作部より以下の手順で、ポンプの流量を 1 mL/min に設定します。
- 1) モニタ画面表示時に F3 (Unit) キーを押します。
 - 2) ユニット選択画面で、テンキーから “1” (Pump) を入力し、ENT キーを押します。
 - 3) ポンプ画面で、ENT キーを押し、Flow の位置にカーソルを移動します。
 - 4) テンキーから “1.00” を入力して、ENT キーを押します。
- ⑦ 操作部の FLOW キーを押してポンプの送液を開始し、10 分以上送液します。
- ⑧ 手順⑤と同様の手順で溶離液 2 を選択し、10 分以上送液します。



- ・ 本機を長期間使用しない場合は、5.11 項 (P5-24) に従ってサプレッサバルブの洗浄も行ってください。
- ・ オプションの UV 検出器を接続している場合は、UV 検出器を接続した状態のまま、洗浄を行ってください。